

京都国際マンガミュージアム開館 10 周年記念連携コンサート

「漫画に登場する クラシックの名曲 vol.2」



ピアノ 山上華子



Grotrian-Steinweg



ヴァイオリン 佐久間聰一



チェロ 上森祥平

「四月は君の嘘」、「のだめカンタービレ」より

パガニーニ :24 のカプリース 作品 1 より「第 24 番」

サン・サーンス :序奏とロンド・カプリチオーズ 作品 28

クライスラー:愛の悲しみ

サン・サーンス :白鳥

ベートーベン :ピアノ三重奏曲 第 7 番 変ロ長調 「大公」Op.97

他クラシック名曲多数

11月19日(土)15時開演

京都国際マンガミュージアム 1階 多目的映像ホール

〒604-0846 京都市中京区烏丸通御池上ル金吹町 452 ☎ 075-254-7414(代)

定員150名(先着順)コンサート観覧チケット¥3,000.

ミュージアム入場料は別途必要となります:大人¥800、中高生¥300、小学生¥100

※ミュージアム入場料はミュージアム入口にてお支払いください

チケットのお申し込み、お問い合わせは ticket3578@gmail.com まで

— 龍池小学校について —

「旧小学校の建物は登録有形文化財」

マンガミュージアムへと生まれ変わる龍池小学校は、1869(明治2)年 11月1日、町の区分をもとにした64の「番組小学校」のひとつ、上京第二十五番組小学校として開校しました。日本の近代教育制度(明治5年の学制発布)に先駆け、京都府からの下付金を得ず、教育に熱い思いを寄せる龍池学区民の寄付で二千両の建築費を調達しての建設でした。

開校以来、京都の教育の牽引的役割を担ってきた龍池小学校でしたが、近年の人口ドーナツ化現象・少子化等により、1995(平成7)年4月、梅屋・竹間・富有・春日の4小学校と統合、新たに「御所南小学校」が開校されました。校舎を修復してアール・デコを基調としたレトロ・モダンなインテリアをうまく活かしたマンガミュージアムが作られたことにより、貴重な近代建築の保存にもなっています。昭和初期のモダニズム建築で、全体的には縦の線が強調されていますが、一階には大きなアーチ形の窓があり、建物に表情を与えています。



京都国際マンガミュージアム現在



Piano 山上 華子(Hanako Yamagami)

お茶の水女子大学文教育学部ピアノ演奏学研究生修了。パリ国立音楽院教授A.ヴィプロフスキイ氏、ウィーンにてA.イエンナー氏、H.ペーター・マンドル氏の各氏に師事。ディプロマ取得。演奏活動を主軸に国際交流の担い手として、コンサートプロデュースや、学校等からの依頼による記念行事のプランニング及び吹奏楽、オーケストラ指導などを手掛ける。コンクール入賞者を数多く輩出するなど、指導者としても高い評価を受けています。国内外のオーケストラや著名な演奏家との共演も多数。大阪音楽大学博物館、浜松市楽器博物館での演奏も多く、フォルテピアノデュオコンサートや審査員等で小林道夫氏と共に。ヴァイオリンとのデュオ、室内楽などアンサンブルピアニストとしても幅広く活躍。CD録音にも多数参加。

2014年、京都国立博物館平成知新館にて演奏会、2015年は琳派400年記念演奏会で重要無形文化財の能楽師の方々との共演など「クラシック音楽に関する文化政策・芸術支援の在り方」に取り組んだプログラムを企画構成・出演している。

藤井和子、故遠藤秀一郎、故遠藤一枝、各氏に師事。現在、日本演奏家連盟会員、帝塚山学院オーケストラ部コーチ、関西学院大学非常勤講師。



Violin 佐久間 聰一(Soichi Sakuma)

1982年山形県出身。幼少よりヴァイオリンを始め、桐朋学園子供のための音楽教室仙台分室を経て山形東高等学校から桐朋学園大学へ進む。10代から演奏活動を始め、ソロ・室内楽はもとより、日本青少年オーケストラ、桐朋学園オーケストラにて早くからコンサートマスターとして活躍する。

桐朋学園在学中より新日本フィルハーモニー交響楽団の契約団員を務め、その後、大阪フィルハーモニー交響楽団の首席奏者となる。2012年3月、大阪フィル退団後に渡独、ハノーファーにてUlf Schneider教授のもとで研鑽を積み、ドイツ・カンマー・フィルハーモニー・ブレーメンに客演。帰国後、オーケストラへの客演をはじめ全国各地で公演や録音を行うかたわら、《幼少期からの音楽体験プロジェクト》など、乳幼児が音楽に触れやすい機会の創出にも力を注ぐ。

2014年4月、広島交響楽団・第1コンサートマスターに就任。その他、ソリストとして、「昂21弦楽四重奏団」「エレメンツ・ストリング・カルテット」「アウラス・トリオ」での活躍を中心に、年間数多くの室内楽コンサートに出演するほか、

「東京・春・音楽祭」などの国内の主要な音楽祭にも招かれる。又CD録音も数多く2016年には通算7枚目となるアルバム、「die Liebe 6 Schumann und Brahms Nr.3」(KONTAKT Inc.)を発売。

これまでに中新田バッハホール音楽コンクール小学生の部第1位、第23回霧島国際音楽祭特別奨励賞(サントリー賞)ならびに優秀演奏賞受賞。



Cello 上森 祥平(Shohei Uwamori)

日本音楽コンクール第1位、及び「松下賞」受賞。各地で開催されたデビューリサイタルでは、その高い表現力や表情豊かな包容力が誌上で高く評価された。宮崎国際室内楽音楽祭でアイザック・スターン氏に師事。東京藝術大学にてヨーヨー・マ氏のマスタークラスを受講。2001年ベルリン藝術大学に留学。2004年 J.S.バッハ無伴奏チェロ組曲連続演奏会で成功を収め、誌上で絶賛される。欧州各地で演奏活動の後、2005年ドイツ国家演奏家資格を取得しベルリン藝術大学を卒業。帰国後ソロ・室内楽・主要オーケストラ首席客演・東京及び京都芸大での教育活動等あらゆる場面で活躍。特にドイツ三大B チェロ作品全曲リサイタルシリーズでは大きな成功を収めた。2008年より毎年全国でバッハ無伴奏チェロ組曲全曲演奏会を開催。ラ・フォル・ジュルネ“熱狂の日”音楽祭、東京・春・音楽祭をはじめ、NHK・BS・FM他出演多数。小林研一郎、下野竜也等各氏の指揮のもと、東京交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団等と共に。京都市芸術文化特別奨励者及び京都府文化賞奨励賞受賞。2016年これまでの活動が評価され、第14回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。